

フューエルポンプモジュール脱着作業要領

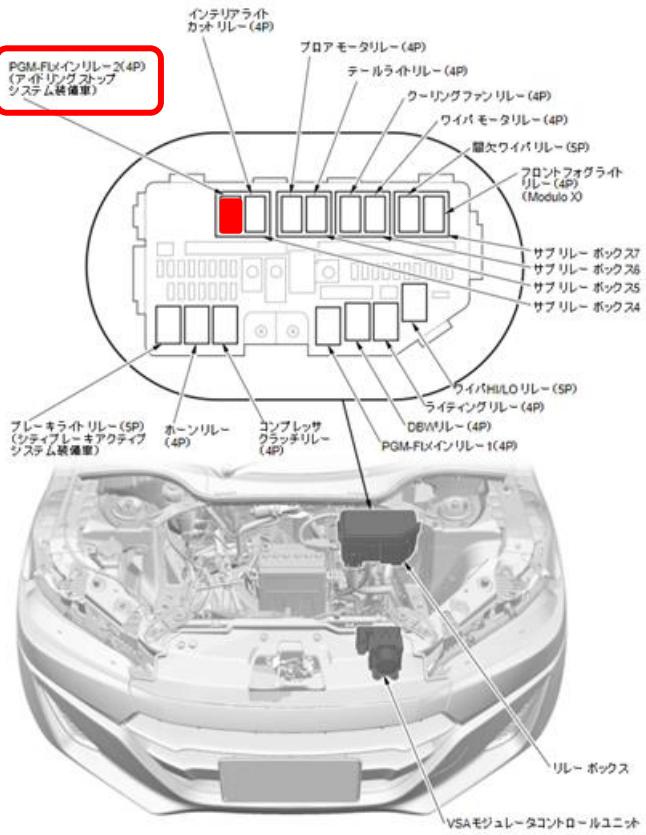
機種名	型式
S660	JW5

■ 使用する部品番号

型式・タイプ	部品番号
JW5 全車共通	06170-TDJ-305

- 最初にフューエルメータの燃料残量を控えておく。
- POWERスイッチはOFFモードで、フューエルフィラーキャップを開ける。
- PGM-FIメインリレー2(A)を取り外す。 図-1参照

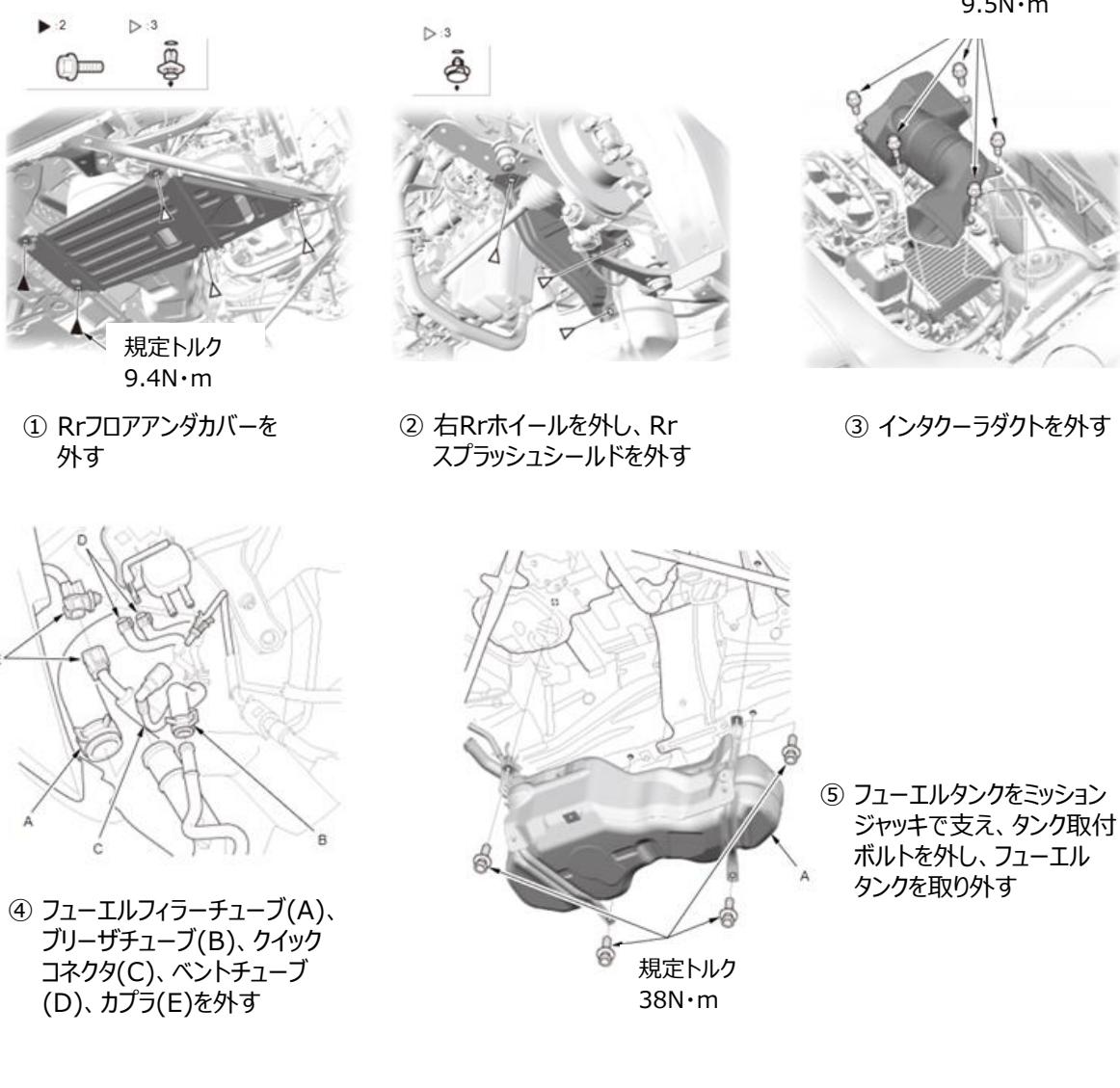
図-1



- エンジンを始動し、ガス欠でエンストするまでアイドリングで放置し、エンジン停止したらPOWERスイッチを押し OFFモードにする。
- 手順3.で取り外したリレーを元の位置に取り付け、バッテリのマイナス端子を外す。

6. 車両をリフトアップし、フューエルタンクを取り外す。 図-2参照

図-2



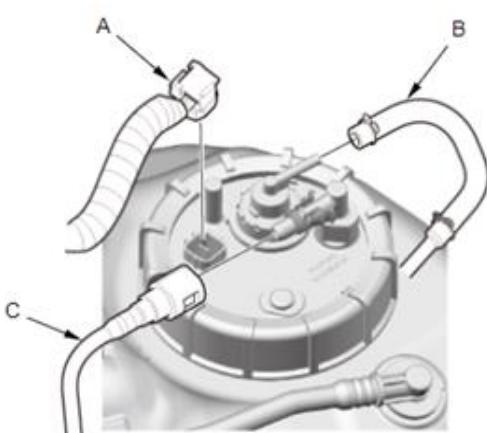
7. フューエルポンプモジュール上面および周辺部のホコリをウエスなどで除去する。

8. フューエルポンプモジュールからカプラ(A)、ブリーザチューブ(B)、クイックコネクタ(C)を外す。

図-3参照

※ クイックコネクタのリテーナは分解時交換

図-3



9. 指定のロックナットレンチを使用し、ロックナット

(A)を外す。

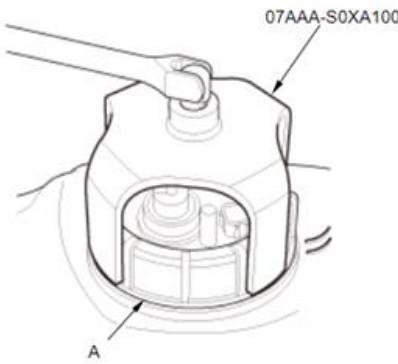
図-4参照

※ ロックナットレンチ部番

07AAA-S0XA100

※ ロックナットは分解時交換

図-4



10. フューエルポンプモジュールをフューエルタンクから

引き出し、取り外す。

図-5参照

※ フューエルポンプモジュールを引き出した向きを
覚えておくこと

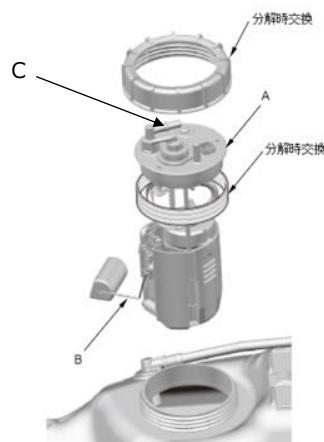
※ センダユニットのフロートアームを変形させ
ないこと

※ 車室内にガソリンを垂らさないよう、オイル
パンなどに受けて、車外に移動すること

※ 古いパッキンを外し、ニッパーなどで切る
(再使用防止)

※ フューエルポンプモジュールから古いリテーナ
(C)を外し、新品のリテーナを組付ける。

図-5



11. フューエルポンプモジュールを分解し、ポンプモータを
交換する。

※ 参照するポンプ交換作業要領 → E

※ 「再使用不可部品 廃棄確認シート」に交換
した全ての部品を乗せ、写真を撮影すること。

図-6参照

※ フューエルポンプモジュールが組みあがった時点で
整備主任者に中間検査を依頼し、誤組がない
ことを確認してもらうこと。

図-6



廃棄確認シート①②とも撮影すること

12. フューエルポンプモジュールに新品のパッキンを組付け、フューエルポンプモジュールをタンク内に挿入する。

※ パッキンの位置は図-8参照

※ センダユニットのフロートアームを変形させないよう注意すること。

13. フューエルポンプモジュール上面の合わせマーク(A)
をタンク側の合わせマーク(B)に合わせ、パッキンが
密着するまで垂直に押しつける。

図-7参照

※ パッキンがずれていないことを十分に確認する
こと。

図-7

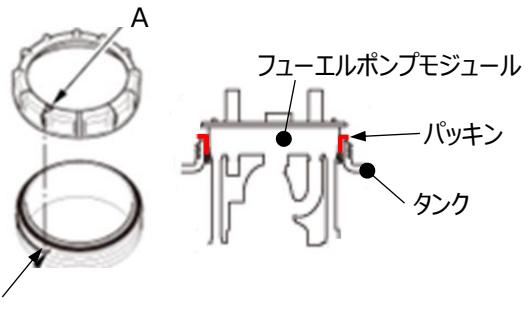


14. 新品のロックナットのマーク(A)とタンク側のネジの始まりを(B)合わせて、ロックナットを手でねじ込む。
図-8参照

※ フューエルポンプモジュールを押しつけながら、パッキンがずれないように作業すること。

※ タンクの膨潤によりロックナットが嵌りにくい場合がありますが、斜めにねじ込まないよう十分に注意すること。

図-8



15. 指定のロックナットレンチを使用し、ロックナットを既定トルクで締めつける。

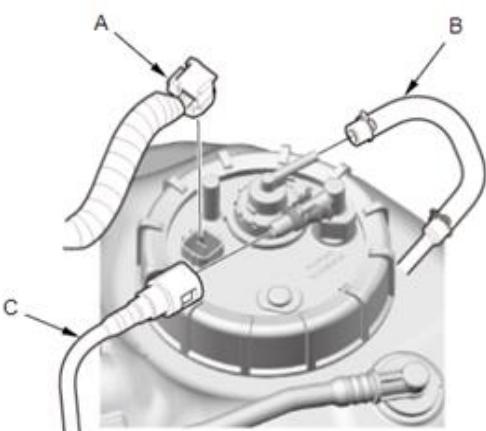
※ ロックナットレンチ部番
07AAA-S0XA100

※ ロックナット規定トルク : 93N·m

16. カプラ(A)、ブリーザチューブ(B)、クイックコネクタ(C)接続する。
図-9参照

※ 接続はカチッと音がするまで確実に押し込みその後、軽い力で引っ張り、抜けないことを確認すること。

図-9



17. 整備主任者に中間検査を依頼する。

18. 整備主任者は下記項目を確認すること。

- ① クイックコネクタが確実に接続されていることを確認する。
 - ② フューエルポンプモジュールとロックナットの隙間にシックネスゲージを差し込み0.04mmが入らないことを確認する。
図-10参照
- ※ 0.04mm以上の隙間が1か所でもある場合はロックナットが斜めに入っているため、タンク交換が必要となります。

図-10



シックネスゲージは4方向に差し込んで確認すること

19. フューエルタンクを分解とは逆の手順で組み付ける。
フューエルフィラーキャップを締め、リッドを閉じる。

※ 各ボルトは図-2の規定トルクで締付ること。

※ 各チューブは確実に接続すること。

20. バッテリのマイナス端子を接続する。
21. ブレーキペダルを踏まない状態でPOWERスイッチを1回押し、約2秒間ONモードにしてから、OFFモードにする。
22. 手順21.の操作を3回以上繰り返し、クイックコネクタ部からガソリンが漏れていないことを確認する。
23. 整備主任者に中間検査を依頼する。
24. 整備主任者は下記項目を確認すること。
 - ① クイックコネクタ部からガソリンが漏れていないことを確認する。
 - ② クイックコネクタ、カプラ、バッテリ端子の接続を確認する。
 - ③ エンジンを始動し、フューエルメータが作業前の指示値を表示していることを確認する。
25. 整備主任者に完成検査を依頼し、作業者の作業は完了です。
26. 整備主任者は下記項目を確認する。
 - ① 分解した部品が確実に取付かれていること。
 - ② 分解した部品の機能が正常に作動すること。
 - ③ 車両をリフトアップし、フューエルタンクにガソリン漏れの痕跡が無いこと。
 - ④ DTCスキャナツールを接続し、DTCストアの有無を確認し、ストアされている場合は消去する。

27. インフォメーションラベルの写真を撮影する。

図-11参照

28. ホンダ販売店への請求書と作業完了報告書を作成し、印刷してください。

29. 作業依頼元のホンダ販売店へ完成連絡を行う。

※ 手順28.で作成した請求書と作業完了報告書をホンダ販売店へ必ず渡してください。

